



学校通信

とうよう

第3号

令和8年6月1日
泉大津市立東陽中学校
校長 花見 明子

東陽校区小中一貫教育校 重点教育目標
学校教育目標 自己成長と挑戦

「誰とでもつながる力」の育成

[泉大津市立東陽中学校ホームページ](#)



東陽祭 5月23日（土）を開催しました

“東陽中学校生徒会・各委員会・ボランティア・有志・部活動”と東陽中学校学校運営協議会みらい応援隊“東陽Jはあと”が協働して、5月23日（土）第23回「東陽祭」を開催しました。

今年度も小・中学校のPTAやコミスクみらい応援隊、地域の皆さまが参加してくださり、多くの方に楽しんでいただくことができました。ご協力くださった地域の皆さま、ご来場の皆さまありがとうございました。

次ページに、東陽中学校の生徒が中心となって運営した東陽祭の取組みの一部を紹介しています。また、全出店ブースについては、6月1日発行の“TOYO COMMUNITY SCHOOL NEWS! No.4”で紹介していますのでどうぞご覧ください。

視点を变える

下の写真は「東陽祭」のようすをドローンで撮影したものです。場所はどこかわかりますか。上段右（小さい写真）は「新館屋上」、下段左は「体育館・教室前」、下段右は「中庭」です。校舎の屋上より少し上からの撮影ですが、学校で撮影する場合、真上からとらえた写真はこれまでになくとても新鮮な印象を受けます。生き物の中で突出した頭脳を持つ私たち人間は、生成AIを生み出し、どんどん進化させていますが、動画でみると私たち人間の動きは、地面を歩く昆虫とあまり変わらない…（ここで動画を提示できず申し訳ありません。）昨年、関西万博で披露されたドローンショーを見た人は、夜空に浮かぶ光の演出に魅了されたことと思います。今回の撮影は、日中にたった一機のドローンでしたが、日常では見られない光景に出会い、私たちの脳を刺激し、視点を变えることの必要性を感じさせてくれました。

6月、雨の日が増える梅雨を迎えます。湿気で体調不良になりがちな体をうまくコントロールして、前に進んでいきたいところです。今、自分のやりたいことが滞っているならば、改善に向けて、ものの見方や考え方を考えてみるのも一つでしょう。学習スタイルを晩型から朝型へ変更してみる、復習中心の学習にあえて予習を多めに入れてみる、人の気持ちや考え方を想像してみる、等、視点を变える工夫をしてみましょう。



新館屋上に映るドローンの影



東陽祭“輪島ブース”

〈学級委員会〉

今年度の東陽祭では、学級委員会が中心となって“輪島ブース”（能登のお米で作ったおにぎり販売）を出店しました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震。元旦に大きく報道されたことから私たちの記憶に新しく、地域によって被害や復興の状況に差があることを知った生徒会が、何か支援できないかと考えたことがきっかけです。調べてみると、輪島市に本校と同じ名称の東陽中学校が存在することがわかりました。（令和8年4月より、石川県輪島市立東陽小中学校）出店は、二校が交流する中で生まれました。調理は給食でお世話になっている事業所さんにご協力を依頼し、衛生面やおいしさなどの品質を保ちながら販売につなぐことができました。現在、全ブースの収支を集計中ですが、収益の一部を活用して教材教具の支援を行う予定です。



東陽祭“こどもの居場所”

フードリボンプロジェクト〈給食委員会〉

泉大津市が取り組んでいる「フードリボンプロジェクト」。地域が子どもたちの一食を支える取組みで、飲食店を利用するお客さんが、300円でリボンを購入し、店内に掲示、のちに訪れた子どもがそのリボンを手に取って一食分の食事ができる仕組みです。この取組みに賛同し、東陽祭で周知活動を行いました。参加するお店やお客さんが増えてくれることを願っています。東陽祭では、「板原こどもの家」さんのご協力により、保存食である缶詰やレトルト食品等の無料配布も行われました。これまで以上に地域でお互いを支え合える泉大津になればと思います。

参加店舗情報はこちらです。→ [フードリボンプロジェクト参加店舗一覧/泉大津市](#)



東陽祭において、様々な取組みにご協力いただきました皆さまありがとうございました。

幼中交流会〈旭幼稚園〉5月29日（金）

元気いっぱい旭幼稚園の5歳児が東陽中学校を訪問してくれました。旭幼稚園から東陽中学校まで、中学生なら歩いて12,3分の距離ですが、5歳児ならもっと時間がかかったことでしょう。運動場や各教室をめぐり、図書室では少し難しい本を手に取り、中学校の日常に参加してくれました。持参したお弁当を食べた後の昼休みは、運動場などで中学生と遊びを通して交流しました。

